

NY マーケットレポート (2016年11月17日)

NY 市場では、イエレン FRB 議長の議会証言テキストで、12 月利上げの可能性が示唆されていたことや、新規失業保険申請件数が 40 年ぶりの低水準となったこと、住宅着工件数が 2007 年 8 月以来 9 年 2 ヶ月ぶりの高水準となったことも加わり、ドルは大半の主要通貨に対して堅調な動きとなった。ドル/円は、終盤に 109.99 まで上昇し、6 月 1 日以来の高値を付ける動きとなった。一方、ユーロは対ドルで軟調な動きが続き、2015 年 12 月 3 日以来の安値を付けた。なお、米金利先物市場で織り込まれている 12 月の米国の利上げ確率は、一時 98% まで上昇していた。

2016年11月17日 (木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	109.04	109.47	108.56
EUR/JPY	116.80	117.04	116.26
GBP/JPY	135.76	136.02	135.01
AUD/JPY	81.46	81.84	81.12
EUR/USD	1.0716	1.0720	1.0683

LONDON	高値	安値
USD/JPY	109.38	108.83
EUR/JPY	117.18	116.71
GBP/JPY	136.47	135.81
AUD/JPY	81.60	81.30
EUR/USD	1.0746	1.0708

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	109.99	109.99	109.09
EUR/JPY	116.86	117.22	116.65
GBP/JPY	136.67	136.69	135.99
AUD/JPY	81.57	81.79	81.34
NZD/JPY	77.35	77.53	77.12
EUR/USD	1.0624	1.0734	1.0620
AUD/USD	0.7416	0.7481	0.7397

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18903.82	+35.68
S&P500	2187.12	+10.18
NASDAQ	5333.97	+39.39
日経225 (CME)	18100	+320
トロント総合	14826.09	+92.87
ボルサ指数	44919.69	+18.12
ボベスパ指数	59770.47	-988.84

11/18 経済指標スケジュール

09:00	【ニュージーランド】11月ANZ消費者信頼感指数
16:00	【ドイツ】10月生産者物価指数
18:00	【欧州】9月経常収支
22:00	【ポーランド】10月雇用
22:00	【ポーランド】10月平均総賃金
22:00	【ポーランド】10月消費者物価指数
22:30	【カナダ】10月消費者物価指数
00:00	【米国】10月景気先行指標総合指数
01:00	【米国】11月カンザスシティ連銀製造業活動指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1216.90	-7.00
NY 原油	45.42	-0.15
CME コーン	349.75	+3.25
CBOT 大豆	989.50	+3.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.034%	1.001%
3年債	1.310%	1.275%
5年債	1.721%	1.667%
7年債	2.079%	2.012%
10年債	2.288%	2.215%
30年債	2.999%	2.921%

ドイツ10年債	0.279%	0.297%
英国10年債	1.410%	1.383%

11/18 主要会議・講演・その他予定

- ・パウエルFRB理事 講演
- ・カンザスシティ連銀総裁 講演
- ・セントルイス、ダラス連銀総裁 講演

NY 市場レポート

22 : 10

◀ 要人発言 ▶

イエレン FRB 議長～議会証言テキスト

- ・「利上げは比較的早期に適切になる可能性」
- ・「労働市場には拡大の余地があるようだ」
- ・「米経済成長は、緩やかなペースで加速」
- ・「インフレ率は労働市場の改善で2%に向けて上昇へ」

- ・「米経済は金融当局の目標に向けて進展を示した」
- ・「金利維持は過剰なリスクテイクを促す恐れがある」
- ・「インフレ率は、今年前半以降にやや上昇」

- ・「利上げを先送りし過ぎると引き締めペースが速まる恐れ」
- ・「FOMC は、利上げの根拠が引き続き強まっていると判断」
- ・「経済状況は緩やかな引き締めに正当化」

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 23.5 万件（予想 25.7 万件・前回 25.4 万件）

米失業保険継続受給者数 197.7 万人（予想 203.0 万人・前回 204.3 万人）
 前回発表の 204.1 万人から 204.3 万人に修正



経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	・	前週比	・	4週移動平均	・	受給者数	・	受給者比率
16/11/12	235,000	・	-19,000	・	253,500	・	*****	・	*****
16/11/05	254,000	・	-12,000	・	260,000	・	1,977,000	・	1.4%
16/10/29	265,000	・	+7,000	・	258,250	・	2,043,000	・	1.5%
16/10/22	259,000	・	-2,000	・	253,250	・	2,030,000	・	1.5%
16/10/15	261,000	・	+14,000	・	252,000	・	2,040,000	・	1.5%
16/10/08	247,000	・	+1,000	・	249,500	・	2,054,000	・	1.5%
16/10/01	246,000	・	-8,000	・	252,750	・	2,050,000	・	1.5%
16/09/24	254,000	・	+3,000	・	256,000	・	2,062,000	・	1.5%
16/09/17	251,000	・	-9,000	・	258,250	・	2,064,000	・	1.5%
16/09/10	260,000	・	+1,000	・	260,750	・	2,108,000	・	1.5%
16/09/03	259,000	・	-4,000	・	261,250	・	2,149,000	・	1.6%

受給者数は集計が1週間遅れる

米失業保険申請件数は、前週比-1.9万件的23.5万件と、市場予想を下回る結果となり、節目となる30万件を89週連続で下回った。申請件数の4週移動平均は、前週比-6500件の25万3500件だった。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-6.6万人の197.7万人となった。4週移動平均は、前週比-1万9250人の202万2500人だった。そして、受給者比率は、前週比0.1ポイント低下の1.4%だった。

22:30

《 経済指標の結果 》

10月米住宅着工件数 132.3万件 (予想 115.6万件・前回 105.4万件)
 前回発表の104.7万件から105.4万件に修正

10月米住宅着工件数 (前月比) 25.5% (予想 10.4%・前回 -9.5%)
 前回発表の-9.0%から-9.5%に修正

10月米建設許可件数 122.9万件 (予想 119.3万件・前回 122.5万件)

10月米建設許可件数 (前月比) 0.3% (予想 -2.7%・前回 6.3%)



出所: Bloomberg



出所：Bloomberg

経済指標データ

◀米住宅着工・許可件数▶

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
住宅着工件数	132.3	105.4	116.4	121.8	119.5	112.8
一戸建て住宅	86.9	78.5	72.4	76.9	76.3	73.7
集合住宅	45.4	26.9	44.0	44.9	43.2	39.1

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
許可件数	122.9	122.5	115.2	114.4	115.3	113.6
一戸建て住宅	76.2	74.2	73.6	71.1	73.8	73.1
集合住宅	46.7	48.3	41.6	43.3	41.5	40.5

前月比 (%)

住宅着工	25.5	-9.5	-4.4	1.9	5.9	-2.3
住宅建設許可	0.3	6.3	0.7	-0.8	1.5	0.5

10月の米住宅着工件数は、前月比+25.5%の132.3万件となり、3ヵ月ぶりに増加した。前年同月比では+23.3%となった。件数ベースでは、2007年8月以来9年2ヵ月ぶりの高水準となり、前月比の増加率は1982年7月以来の高い伸びだった。一戸建て住宅は、前月比+10.7%の86.9万件、集合住宅は68.6%の45.4万件。地域別では、北東部が+44.8%、中西部が+44.1%、南部が+17.9%、西部が+23.2%の増加だった。また、着工件数の先行指標とされる建設許可件数は、前月比+0.3%の122.9万件、前年同月比では+4.6%だった。

22:30

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米消費者物価指数 (前月比) 0.4% (予想 0.4%・前回 0.3%)

10月米消費者物価指数[コア] 0.1% (予想 0.2%・前回 0.1%)

10月米消費者物価指数 (前年比) 1.6% (予想 1.6%・前回 1.5%)

10月米消費者物価指数[コア] 2.1% (予想 2.2%・前回 2.2%)



出所：Bloomberg

指標結果データ

《消費者物価指数》

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
全品目	0.4	0.3	0.2	0.0	0.2	0.2
除く食品・エネルギー	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	0.2
エネルギー	3.5	2.9	0.0	-1.6	1.3	1.2
サービス	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3
食品・飲料	0.0	0.0	0.0	-0.0	-0.1	-0.2
居住費	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3
医療費	0.0	0.2	1.0	0.5	0.4	0.3
娯楽費	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	0.1	0.0

米10月の消費者物価指数は、前月比+0.4%となり、市場予想と一致した。前年同月比では+1.6%だった。変動の激しいエネルギーと食品を除いたコア指数は、前月比+0.1%、前年同月比+2.1%となった。エネルギー価格は前月比+3.5%、ガソリンは+7.0%、住居費は+0.4%、食品は横ばい。自動車は、新車が値上がりしたものの、中古車は下落した。

22:30

《経済指標の結果》

11月フィラデルフィア連銀景況指数 7.6 (予想 7.8・前回 9.7)



出所：Bloomberg

経済指標データ

《フィラデルフィア連銀指数》

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
景況指数	7.6	9.7	12.8	2.0	-2.9	4.7
仕入価格	27.5	7.0	20.6	19.7	9.9	23.0
販売価格	16.0	-3.7	9.7	7.1	0.3	3.9
新規受注	18.6	16.3	1.4	-7.2	11.8	-3.0
出荷	19.5	15.3	-8.8	8.4	6.3	-2.1
受注残	4.1	-0.7	-10.8	-15.0	1.9	-12.6
入荷遅滞	6.1	-0.3	-9.3	-3.8	1.3	-8.3
在庫水準	13.4	-12.8	26.2	-9.2	-4.3	-9.9
雇用者数	-2.6	-4.0	-5.3	-20.0	-1.6	-10.9

6ヵ月先予想

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
景況指数	29.3	32.6	37.5	45.8	33.7	29.8
仕入価格	36.7	42.4	42.1	29.1	26.4	37.8
販売価格	31.0	29.2	33.4	13.9	24.1	16.5
新規受注	37.4	39.3	36.7	44.9	29.2	29.9
出荷	30.2	40.8	30.5	51.0	27.2	32.2
受注残	8.1	15.3	9.7	3.2	12.1	-0.6
入荷遅滞	5.4	6.2	8.5	-2.2	0.5	2.4
在庫水準	6.2	14.0	6.3	-7.3	0.3	-3.1
雇用者数	11.8	25.9	24.9	12.9	12.8	11.2

0:40

《要人発言》

イエレンFRB議長

- ・「FOMCは新政権の政策決定を考慮する」
- ・「景気は現段階でかなり良好に進展」
- ・「長期的な赤字問題に留意が必要」
- ・「議長職を任期満了まで続ける意向」
- ・「緩やかな利上げが適切になる可能性が高い」
- ・「ドッド・フランク法は銀行システム強化で重要」

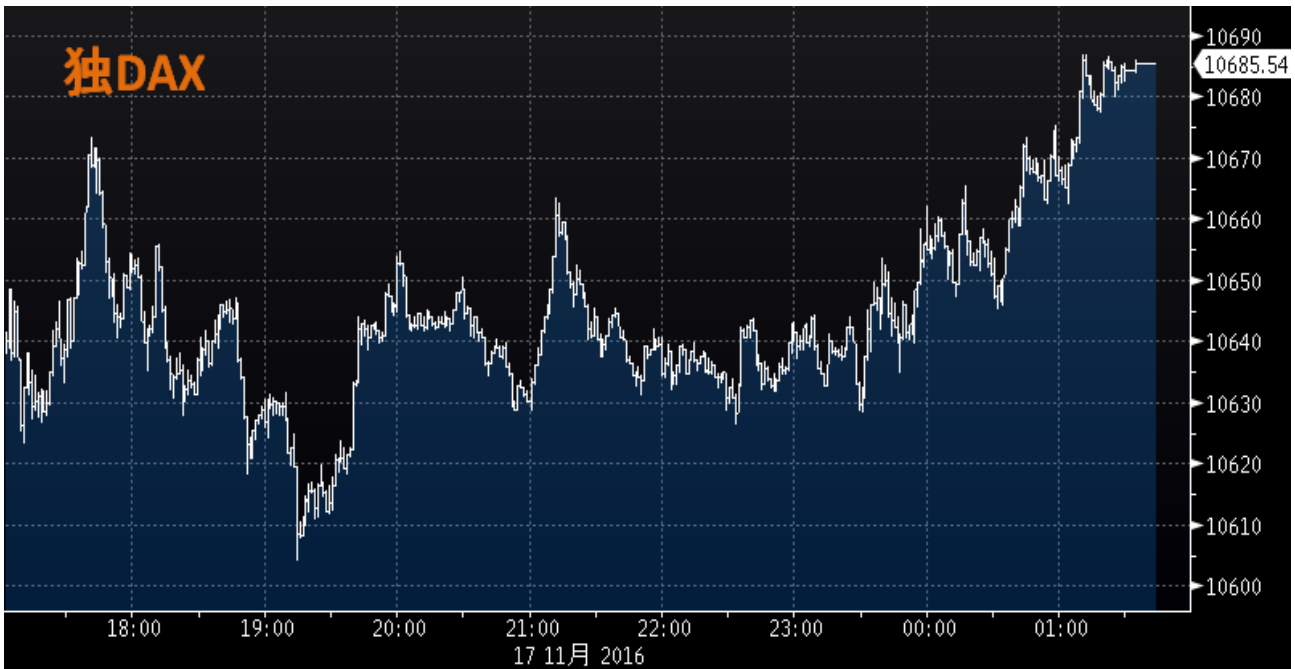
3:00

《米10年物TIPS債入札》

最高落札利回り	0.369%	(前回 0.052%)
最低落札利回り	0.210%	(前回 -0.050%)
最高利回り落札比率	62.71%	(前回 14.04%)
応札倍率	2.39倍	(前回 2.59倍)
発行額	110億ドル	(前回 110億ドル)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、英国や米国の経済指標が好調で、両国の経済先行き期待が広がったことや、原油相場が堅調に推移したことも支援材料となり、主要株価は反発となった。



出所 : Bloomberg

3 : 05

主要 6 通貨に対するドル指数は、一時 100.87 まで上昇し、2003 年 4 月以来の高水準に上昇した。



出所 : Bloomberg

4 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

メキシコ政策金利発表 5.25% (予想 5.25%・前回 4.75%)



出所：Bloomberg

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 7.00 ドル安の 1 オンス=1216.90 ドルで取引を終了した。

NY 金は、イエレン FRB 議長が議会証言で 12 月の追加利上げを示唆し、ドルが主要通貨に対して上昇したことを受けて、ドルの代替資産とされる金を売る動きが優勢となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.15 ドル安の 1 バレル=45.42 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC の減産実現への期待感から買いが先行したが、その後はドルが主要通貨に対して上昇し、ドル建ての原油先物に割高感が出たことから売りが優勢となった。



《米株式市場》

米株式市場は、住宅や雇用に関する米経済指標が、米景気の堅調さを示す内容となったことを好感した買いが入る一方、このところの株価上昇を受けた利益確定の売りも出て、序盤から売り買い交錯するもみ合いの展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤に前日比 31 ドル高まで上昇したものの、その後 22 ドル安まで下落するなど、終盤までもみ合いの展開が続いた。



＜外国為替市場＞

外国為替市場は、FRB 議長の早期の利上げを示唆する発言、米経済指標の堅調な結果を受けて、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。ドル/円は、109.99 まで上昇し、6 月 1 日以来の高値を付ける動きとなった。また、ユーロは対ドルで軟調な動きが続き、2015 年 12 月 3 日以来の安値を付ける動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。